

# SHIRO TORI 通信

Vo.35

2023 autumn

株式会社 城取建築設計事務所

今月の地元パワーは

体の『根っこ』を支えたい

治療のみでなく、

日々のメンテナンスを

「根っこの整骨院」さん

城取設計ニュース

オススメ!この一冊

建築ニュース

建築探訪

建築設計の仕事

実録! 地元のチカラ この街の企業

催事景品におすすめ

営業コラム





# 建築 NEWS

「大阪パビリオン」唯一の手段に“飯場” 造成論

2025年の大阪・関西万博でのパビリオン建設が今、人手不足と資材高騰で困難を抱えています。『言い出しっぺ』である日本維新の会は何としても強行する構えですが、会場の夢洲は人工島でアクセスが2カ所しかなく、建設業界関係者は「予定通りの開催は無理筋」と口を揃え、アクセス制限や資材の輸送にも疑問を呈しています。

この問題を突破するには、現場に作業員用の食事、宿泊施設を備えた「飯場」の設置が必要であると建築エコノミストの森山高至氏が指摘しています。夢洲での会場建設工事は



OSAKA, KANSAI, JAPAN  
**EXPO**  
**2025**

ピーク時に約2万人の作業員が必要となり、彼らを現場に送り届けるには約1,000台のバスが必要。さらに現場には資材運搬用の車両も来るため、通勤となるとアクセスと労働時間制限問題がより深刻化に。

しかし、令和の時代に飯場・・・。「労働者を集めるためには最低限ワンルームマンションにビジネスホテルの朝食バイキングレベルの食事が求められる時代である」と森山氏は言いますが、果たしてこのような状況の中で万博は実現できるのでしょうか。

## 城取設計 ニュース

### 新入社員を迎えました

弊社HPやSNSでもご報告申し上げておりましたが、この度、新しい設計士を迎えました。今回は、何事にも真面目に頑張ってくれる新入社員大槻の目標や抱負を紹介致します。

今年8月より設計士として入社しました、大槻と申します。

私は中学生の頃から建築が好きで、自然と設計士に憧れを抱くようになりまして。そして老若男女誰もがカッコいい！美しい！と思える建築設計がしたいと現在も夢を描き続けています。

建物は一度建つと三十年、五十年とその土地に残ります。それは今までであった景色を変える事になります。建物が建つ事で「前はここは見晴らしが良くて遠くの山が綺麗に見えたのにな」と言った話はよくあり、逆に、「あそこは

最近活気がついている」と言ったいい話もあります。

そんなマイナスイメージとプラスな面を持ち合わせている「建築物」により、伊那谷が更に盛り上がり、伊那谷の美しい風景に調和し、伊那谷に住む全ての人が誇りに思えるような設計をしていきたいと考えています。

様々な建物と長年携わってきた歴史ある「城取設計」の一員として、ここでお伝えした事を忘れず精進して参る所存です。何卒よろしくお願い致します。



大槻 敦史

長野県上伊那郡箕輪町出身  
京都建築大学卒業

おススメ

## この一冊

「アンビジャス 北海道にボールパークを創った男たち」

鈴木忠平（文藝春秋）



### 大志を形にした男たちの物語

今年3月、北海道北広島市に完成した北海道日本ハムファイターズの新球場『エスコンフィールドHOKKAIDO』。このボールパーク構想が生まれたのは、なんと今から10年以上前にさかのぼります。

そのプロジェクトリーダー、前沢賢を主人公に、ファイターズ、北広島市役所、日ハム本社、札幌市の様々な登場人物がおりなす人間模様や、北海道における野球場の建設に向けた取り組みが描かれています。

著者は、北海道の地域や野球ファンに焦点を当てながら、ボールパーク建設の舞台裏の暴露話もあり、限られた資源や困難に立ち向かい続けます。ボールパークの実

現に向けて熱き想いと知恵と努力を集集し、更には協力と協力を通じて困難を乗り越え、地域の誇りとなる新たな施設を生み出すことに成功するのです。

情熱的で感動的なノンフィクション物語は野球好きでもそうでない方でも楽しめます！そして読んで方誰もエスコンフィールド北海道に行きたくなる作品です！！



鈴木忠平 著  
定価・本体1,980円 税込  
発売日・2023年3月29日  
形態・単行本(273ページ)

## 建築探訪

### AEA Jグリーンテラス

今回ご紹介するのは、今年2月にオープンした『AEA Jグリーンテラス』。原宿の明治神宮近くに位置し、公益社団法人日本アロマ環境協会がアロマテラピーの情報発信拠点として建設した施設です。

二十年もの構想を経て完成したこの施設は、隈研吾氏による設計。鉄骨などは極力使わず、国産のヒノキやクリ、カラマツといった木材を最大限使用したデザインが印象的な積層構造です。

この空間に入った瞬間から木々の香りに包まれ、まるで森の中にいるような気分になります。健康と快適性だけでなく、未来の自然環境保全のため、CO2の削減や資源の循環にも配慮されています。

都会の喧騒を忘れ、植物の魅力とアロマの香りに包まれるひとときが楽しめる原宿の新たなシンボルです！



特集

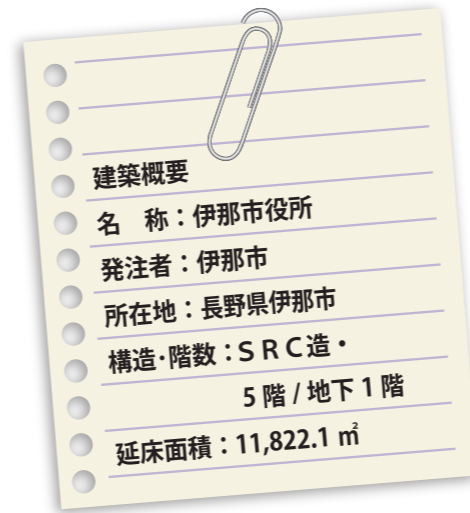
# 施工事例

創業60年を迎えた城取建築設計事務所が手がけた設計作品を紹介します

歴史と文化を後世に残し地域の魅力を発信する拠点と考える過去から未来へつなぐ施設を作ります。

## 施工事例

自然に  
囲まれた  
シティホール



今から約33年前、西側に天竜川が流れ、遠く東に南アルプスを望む自然に恵まれたロケーションにある敷地に、伊那市庁舎の設計計画が始まりました。伊那市固有の雄大な自然と調和しつつ、周囲の景観に新たな彩りをもたらす市のランドマークとして、さらに周囲に新たな風景を作り出せるようにと考えました。

まず、「公園の中に建つ庁舎」をイメージし、建物の周囲に緑豊かな園庭や広場、池を配し、市庁舎自体も市民に広く開かれた空間としての機能を持ちつつ、その外観や配置においても、新たな景観を作り出す役割を果たせるよう努めました。そうすることで、単に行政事務の機能を求めるだけでなく、コミュニティセンターとしての機能も併せ持つ住民寄りの施設としての空間を追及しました。

また、行政ゾーンと議会ゾーンを分けることで、各部門の独立性を保ちつつ、市民、議員、行政関係者の動線が複雑に交差することなく、スムーズな運用が可能となっています。これにより、初めて庁舎を訪れる人々にとっても、建物全体のレイアウトや構造が分かりやすく利用しやすい庁舎になったのではと思います。

伊那市庁舎は今年で築30年となりました。今後も建物の外観や設備だけでなく、地域社会との深い結びつきを大切に考え、より良い未来を創造できる設計に取り組んで参る所存です。



議場



外観全景



エントランス

高級食パン専門店  
これぞパンです  
This is a "PAN"!!



## 催事景品におすすめ

秋になりイベント、催事も各地で増えてきましたね。  
催事景品におすすめなのが「高級食パン」。過去にもゴルフコンペの景品、イベントの来場記念品、引き出物などに利用して頂いております。

まとまった注文には配達することも可能ですので、ぜひご利用ください。

満足度間違いなしです!!



本店  
長野県上伊那郡  
南箕輪村 298-5  
TEL.0265-97-1376  
OPEN 10:30 ~ 18:00  
※パンが売り切れ次第終了  
定休日 不定休

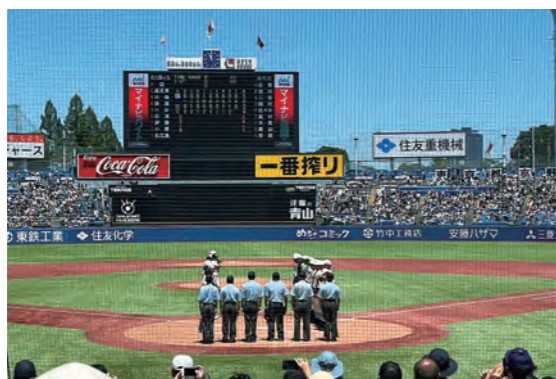
cafe ties 長野店  
長野県長野市  
大豆島 4195  
TEL.026-405-7845  
パンの販売 10:30 ~  
カフェ 11:00 ~  
※パンが売り切れ次第終了  
定休日 不定休

## 営業コラム



今年の夏は連日の猛暑日で、原稿書いている9月1日も朝から気温も高くエアコン必須の日です。そんな中、今年も私の好きなスポーツは盛り上がっています!

7月、8月は甲子園を目指し各地で地方予選が行われました。(慶応高校優勝) 毎年のごとく息子と甲子園観戦を考えチケットも3回戦のバックネット裏を確保したものの、残念ながら台風の影響で交通網がストップし現地観戦は叶わず、テレビの前で観戦しました! 甲子園観戦は出来ませんでした! 今年も東京の地方予選を観戦、ちよつど土日ということもあり、東京決勝戦、西東京決勝戦を2日続けて神宮球場で観戦してきました!



FIBAバスケットボールワールドカップが行われ、日本中盛り上がっています。そして私の本命、ラグビーワールドカップ『2023フランス大会』がいよいよ始まります。早朝のテレビ放映の日もありますが、今から楽しみで仕方がありません。今回はどんな戦いを見せてくれるか期待しています!

# 実録 地元のチカラ この街の企業

今回ご紹介するのは、2023年8月に伊那市にOPENした「根っここの整骨院」さんです。  
院長の根橋さんは、長野市で柔道整復師の免許を取得後、松本市の整骨院で4年半経験を積み、生まれ育った上伊那に帰ってきました。自然豊かな地元が大好きで、将来は絶対に帰ってくるかと決めていたそうです。



自身が学生時代に通っていた整骨院は、お年寄りや学生が大半だったことから、働き盛りの世代はケガをしづらいものなんだと思っていたといいます。しかし、社会人として働きた時に「治療に通う時間はないのに、体のしんどさは日々増していく」と感じました。

いつでも治療できる場所にいるのにそう感じるということは、世の中の人はもっと大変な状態で働いているのではないかと思い、つらさを感じる前にメンテナンスをしないと考えたそうです。  
幸い、自分の職場は整骨院のため、色々な機械を使って楽になる方法を探しました。そこで体のリセットを行える方法を見つけたのです。「まずは地元の人たちの、体の根本を支えたい」そんな思い

## 体の『根っこ』を支えたい 治療のみでなく、日々のメンテナンスを

根っここの整骨院 (伊那市)



から「根っここの整骨院」の開業を決意しました。箕輪町から赤穂高校に通っていた根橋さんは自身の経験から、どの地域からでも来やすく、人の流れが多い伊那市を選びました。

小さなお子様も安心して来られるようにキッズスペースが設けられており、予約優先制の為、待ち時間もほほあきません。「仕事に子育て、忙しさに参ってしまう前に、月1回1時間だけ自分の体のリセットをしに来てみて下さい」と語る根橋さん。ケガをしていないけどメンテナンスで整骨院に行く。新しい整骨院のスタイルが見えてきそうです。

## つながりを大切に

箕輪町出身の26歳。都会が苦手で、進学就職共に県内でした。学生時代は、サッカーやバレーボールをやっていて、体を動かす事が大好きです。スニーカーや料理が趣味で、一人暮らしの時期はなんでも自炊していました。

田舎ならではのやわらかい繋がりを大切に仕事をしていきたいです。



根っここの整骨院  
長野県伊那市中央 4884-1  
TEL : 0265-98-6875  
<http://www.nekkonoseikotsuin.com/>

院長の横顔  
根橋隼人氏

時代の流れと共に、生活環境や価値観も変化し続けています。  
 私たちは、今の時代にあった環境づくりと、そのために必要な技術の向上を目指し、  
 そして、明るい未来づくりのために、今後も走り続けていきます。

城取設計は城取義直が1963年に創立した会社です。創立当初は「構造設計を持って設計する会社」が少なかったこともあり、全国レベルでの建築設計に取り組んできました。当時としては斬新な構造設計の技術などが買われ、多くの依頼を頂くようになりました。先代である城取義直は技術革新を事業コンセプトに掲げ、情報収集に尽力を費やしていました。職人さんの技術向上のために最先端のスキルや情報を惜しみなく学ばせていました。例えば、塗装の塗り方ひとつにとっても職人さんの技術向上に役立つのであれば、職人さんと一緒に現地見学に行ったりもしました。その積み重ねが確かな自信と経験を生み、会社を成長させる原動力になりました。先代の職人を大事にする気持ちが、今日の城取設計を作ったと言えます。



## 城取建築設計事務所のポリシー

建物を作ったという実績のみならず、仕事に対しての情熱や誠実さが評価されての実績だと、私たちは考えております。施主様の満足が続く建物を作り続けること。継続的なアフターフォローを通じて、責任を全うすること。一般建築物よりも建築基準が高い公共施設の設計技術を一般建築物にそのまま反映させる姿勢がお客様と施工者との信頼関係に繋がっていくのだと思います。妥協を許さない姿勢、費用面を含め、気軽に相談できる体制に親しみを感じていただければ、幸いです。

設計からアフターフォローまで責任を持って取組みます

事前打ち合わせ 設計業務 監理業務

費用は掛かりません



# 株式会社 城取建築設計事務所

- 創立：1963年4月1日
- 代表取締役：城取健太
- 資本金：1000万円
- 登録：(伊那) M第7Y051号
- 取引銀行：八十二銀行 伊那支店  
アルプス中央信用金庫 本店
- 所属団体：(社) 長野県建築士事務所協会  
(社) 長野県建築士会

### ■ 事業内容

- ・ 建築・構造・設備に関する企画・設計・監理
- ・ 医療福祉施設に関する企画・設計・監理
- ・ 商業施設に関する企画・設計・監理
- ・ 環境・地域計画に関する計画・設計・監理
- ・ 建物構造調査・診断・設計・監理
- ・ 既存建物の改修・リニューアル計画・設計・監理

### ■ 本社

長野県伊那市西町 5863-1  
 TEL：0265-72-7271  
 FAX：0265-72-7270

